

第15回 日本在宅医学会大会 プログラム別 詳細情報

カテゴリー	特別講演
タイトル	多死社会を迎えて在宅医療が果たす役割 第1部「在宅医療の最近の動向と今後の展望」
日時	平成25年3月30日 10:00～12:00
会場	メインホール
演者	厚生労働省医政局指導課在宅医療推進室 室長補佐 新谷 幸子先生
企画趣旨	<p>医療提供体制や医療保険制度の整備、医療の高度化に伴い、療養の場は自宅から医療機関へと移ってきた。しかし、多くの国民が自宅での療養を望んでおり、希望する場での療養を実現できる体制の整備を行うことが求められている。一方で、団塊世代の高齢化に伴い、2010年から15年間で75歳以上の高齢者は800万人近く増加することが見込まれており、増加する医療ニーズに対応できる医療・介護提供体制を構築することが必要である。</p> <p>こうした状況を踏まえ、厚生労働省では、平成24年度を在宅医療・介護元年として、医療計画、予算事業、診療報酬・介護報酬等、様々な施策を活用して、介護と連携した在宅医療の推進を図っている。</p> <p>本プログラムでは、国の行政の立場から、背景・現状及び在宅医療の抱える課題を整理し、それに対する厚生労働省の施策の現状と今後の展望について、ご紹介させていただきたい。</p>